

《郷土博物館特別展》

まちの記憶—写真でたどる野田・関宿の昭和30～40年代—

野田市郷土博物館では、令和3年1月4日（月）から特別展「まちの記憶—写真でたどる野田・関宿の昭和30～40年代—」を開催する。市で撮影した写真や市民の皆様から提供をいただいた写真などから、野田地域と関宿地域のまちと人々の移り変わりを紹介。会期は3月29日（月）まで。入場無料。

令和2年、野田市は昭和25年の市制施行から70年を迎えた。昭和32年に川間村・福田村と合併して市域が広がり、また、平成15年に野田市と合併した関宿町では、昭和30年に旧関宿町、二川村、木間ヶ瀬村が合併し、新しい関宿町が誕生している。その後の昭和30～40年代は、交通手段やライフスタイルが変化すると同時に、様々な公共施設が建設されるなど、現在私たちが目にしている野田のまちの基礎が築かれた時期であった。

本展示では昭和30～40年代を中心に、合併以前の野田・関宿のまちや人々のくらしの写真を「行政」「産業」「自然・公園」「交通」「教育・文化・スポーツ」「社寺・祭礼」「くらし」「風景」の8つのテーマに分けて紹介する。そこには、当時川に架けられていた船橋や、新たに建設された芽吹大橋や宝珠花橋、本格的な車社会の到来や増え続けるゴミへの対策、賑わう商店街や日々のくらしなど、様々な情景が写し出されている。

変わってしまった懐かしいもの、今も変わらずに在り続けているもの、私たちが住む現在の野田に思いを馳せつつ、まちの記憶をたどる旅を楽しんでいただきたい。

また、特別展開催にあわせ、野田市史編さん委員会との合同講演会として、江戸川大学社会学部教授／野田市史編さん委員会専門委員・民俗部会あなみとおるの阿南透氏による「七夕まつりから見る野田の昭和30～40年代」を、2月28日（日）13時30分から市役所8階大会議室で開催する予定である。

問合せ＝野田市郷土博物館（野田市野田370-8）・電話04-7124-6851

野 田 市